

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。
2021年3月31日をもちまして当社第73期（2020年4月1日～2021年3月31日）が終了いたしましたので、事業の状況についてご報告申しあげます。

株主の皆さまにおかれましても、益々のご支援とご理解を賜りますようお願い申しあげます。

2021年6月

代表取締役社長

竹内一弘



事業の状況

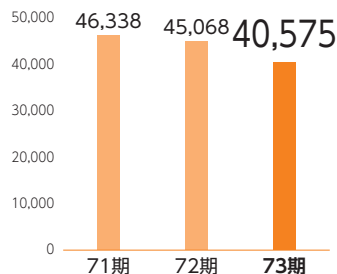
第73期における当社グループを取り巻く環境は、第1四半期連結会計期間では新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による大幅な経済活動の落ち込みがありました。第2四半期連結会計期間以降は経済活動の再開により回復の兆しが見られております。しかしながら、各国におけるワクチン普及のペースや財政出動の規模により回復の速度には国・地域ごとで差が見られ、また、ウイルスの新たな変異株の発生と拡大によっては大幅な景気下振れが想定されるなど、依然として先行きは不透明な状況が継続しています。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public 一人々が笑顔になれる社会をつく

る」を実現するため、モノ・ヒト両面を通じて「お客さまとのつながり」をより一層強める活動を行っており、2020年12月10日に、新研究開発拠点「ナレッジスクエア」をグランドオープンしました。多種多様な人々や情報が集い、新しい価値を共に創り出す「共創」の場として活用を開始しております。国内では、引き続き警戒の必要な自然災害への対策や、新たな社会・生活様式に沿った価値の提供を展開しております。具体的にはパーティション取付型会話補助システムやハンズフリー拡声器、“密”回避を目的とした混雑状況配信ソリューションの提供などのラインナップを軸に、新たな社会・生活様式におけるコミュニケーションの課題解決に貢献してまいりました。また、世界5地域でのマーケティング活動の効率を高めるため、新たなシステム基盤を導入・稼働し、それぞれの市場環境に応じてユーザーの満足度をより高いレベルで実現させる取り組みを進めてまいりました。新型コロナウイルスの感染拡大を受けた環境下においても、多様な働き方やデジタルツールへの投資等を通じて、継続した事業活動とその効率化を推進しております。

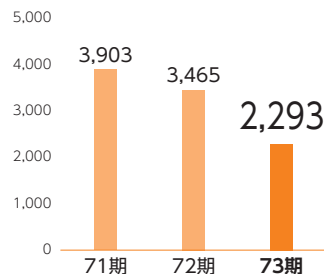
売上高

単位：百万円



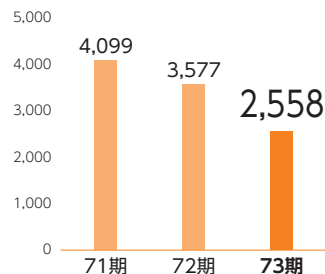
営業利益

単位：百万円



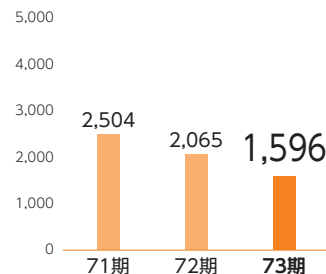
経常利益

単位：百万円



親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。